

岩窟にひそむ札所のある小岩峰の山 秩父 観音山

実施日 2012年4月21日(土)
 天候 曇
 リーダー 鈴木 政三
 参加者 涌井良明、鈴木政三、小村
 井好枝、石附智江 計4名
 費用 池袋起算 2,740円
 タイム 西武秩父駅(8:25バス)栗尾B
 S(9:15~9:20)観音院入口(10:
 05~10:10)観音院(10:20)東奥
 の院(10:30)観音山(11:10~11:
 20)日尾城址(12:00~12:30)牛
 首峠(12:45)馬上(13:15)毘沙
 門水(13:35)倉尾ふるさと館
 (13:55/14:00)合角ダム(14:4
 0)吉田元気村(14:50~15:25)
 上吉田BS(15:35~15:46)西
 武秩父駅(17:15 小鹿野町役
 場乗り継ぎバス)

栗尾行きバスに乗り終点で降りる、乗客は我ら4人のみ。



岩殿沢沿いに行く
と花の街道の看板あり、看板に偽りなく街道筋の両側や民家の庭先、畑に花桃、桜、ツツジ、ス

イセンなどが咲き乱れ、豊かな花の色に見とれつつゆっくり歩む。

地蔵寺を過ぎトンネルを抜けると観音院の山門前に着く。門の仁王尊は石造りで日本一とか書かれていた。298段の石段を上り岩壁を背にした観音院



に囲まれた佇まいは信仰の強さを感じる。本堂右脇から東奥の院に向かう、見晴らしが良く奇岩の中の観音院、西

奥の院が見渡せる。観音山へは丸太の急階段をしばらく上り牛首峠への分岐を右に行き、カラマツ林の斜面を上り詰める
と稜線に出る。尾根道を左に進むとすぐ
観音山頂上に着く、ガスがなければパノラマの見晴らし。牛首峠分岐まで戻り山腹道を北西にたどり、西奥の院への道(通行止め)を左に分け尾根道を進み日尾城跡分岐から城跡に寄り道。石祠が祀られ、ここで昼食。分岐に戻り急斜面を下り、切り立った岩の間の木階段を下りると牛首峠に出る。白ヤシロの花が岩の狭間に絵のような見栄えで咲いていた。



峠を右に行き尾根を下っていくと突然目の前は10m程の崖に突き当たる。確りした鎖が付いていたが足場が悪く手を離したら右側の谷

に転落間違いなし慎重に下りる。

この先は深く切りたつた谷筋を下る、道は所々荒れているが、新緑がきれいで気持ち良い歩き、白花エンレイソウも咲いていた。馬上の集落に出てカタクリ自生地を寄る、時期的に期待していなかったが何とか拝めた。馬上集落を散策、里山は春爛漫、百花繚乱で素晴らしい景色、平成の百名水(毘沙門水)で喉を潤し、車道を倉尾ふるさと館へ向かう。

この間の車道も花の街道で退屈させない。

西秩父桃湖に架かる合角連大橋を渡り合角ダムに、ダムから見下ろす吉田元気村は花桃と桜の花が一面に咲き乱れ、まるで桃源郷のようだ。

春の秩父里山は素晴らしい、花一色の山行でした。



(記・鈴木 政三)
 (写真提供・涌井 良明)